（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	▫	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	･研修の実施 ･相談窓口の設置し、情報を収集している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	人権・労働	▫	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	･ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ･研修の実施、相談窓口の設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	人権・労働	▫	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	･長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理について経営者も含め共有している。								8.5 8.8									
4	人権・労働	▫	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	･相談窓口の設置し、情報を収集している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	人権・労働	▫	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	･安全衛生委員会を通じて社内に周知徹底している ･安全衛生資格取得を積極的に推進している			3					8									
6	人権・労働	▫	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	･外部カウンセラーと契約し、研修会･カウンセリングを定期的に実施している			3														
7	人権・労働	▫	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	･多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を採用し、情報を収集し、手すりの設置等の具体策を講じている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	人権・労働	▫	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	･全社員研修(1回/月) ･エンジニア塾 ･新入社員研修　等の職務別の研修を実施している				4	5.5			8	9								
9	人権・労働	▫	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	･同一労働、同一賃金の原則に沿った体制の整備･対応をしている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	人権・労働	▫	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	･健保連に『健康企業宣言』を行なっている ･社員の健康増進･コミュニケーションの強化のために、クラブ活動支援金制度を設けている			3					8									
11	環境	▫	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	･廃棄物の適正な管理を行うため、廃棄物の種類･量などの現状を把握し、廃棄物置場を巡回している											11.6	12.4		14.1			
12	環境	▫	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	･エネルギー使用量を前年対比で分析し、増減の原因を特定し、対策を検討している							7.3						13				
13	環境	▫	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	･空調設備の燃料を灯油から電気に変更している							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	環境	▫	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	･購入品のSDSを収集し、現場に掲示している ･保護具の着用を周知徹底している			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	環境	▫	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	･廃棄物の適正な管理を行うため、廃棄物の種類･量などの現状を把握し、廃棄物置場を巡回している						6.6									15		
16	環境	▫	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	･TPS活動を通じ、資源のムダを排除する取り組みを継続して取り組んでいる ･廃棄物の分別を徹底している												12.5		14.1			
17	環境	▫	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	･排水溝の整備を行い、雨水が適切に排水される対策を実施している						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		▫	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	･ISO14001は取得していないが、ISO14001に準じた環境マネジメントを実施している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		▫	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	･環境方針を策定し社内に周知している												12.6					
20		▫	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	･工場に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの利用を促進している							7.2						13				
21		▫	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	･TPS活動を通じ、資源のムダを排除する取り組みを継続して取り組んでいる												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	▫	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	･安全衛生委員会にて法令順守の重要性を周知している ･人間力の向上を目的とした全社員研修(1回/月)を通じ倫理面の重要性を学んでいる																16 16.5	
23		▫	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	･安全衛生委員会にて法令順守の重要性を周知している ･人間力の向上を目的とした全社員研修(1回/月)を通じ倫理面の重要性を学んでいる																16	
24		▫	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	･特許事務所と契約し、特許、商標等知的財産権の取得･管理をしている								8.2 8.3	9								
25		▫	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･『個人情報に対する基本指針』を定め、社内に周知し、体制を整備している																16	
26		▫	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	･購入品の製品情報を入手し、紛争鉱物が使用されていないことを確認している																16	
27		▫	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	･弊社方針を伝え、情報を共有する体制を整備している					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	▫	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	･客先毎の仕様に応じて、弊社内に蓄積したノウハウを提供する仕組みを構築している			3.9									12.4					
29		▫	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	･客先毎の仕様に応じて、弊社内に蓄積したノウハウを提供する仕組みを構築している									9								
30		▫	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	･装置に使用される部品等を調達する際に、環境に配慮した製品を選定する仕組みを構築している						6						12	13	14	15		
31		▫	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	･労働力人口の減少に対応する生産ライン(自動化/省力化含む)を開発･設計･製作している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地産外商を積極的に取り組み、雇用創出・技術者育成に取り組んでいる				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・大震災等への義援金に協力している				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・長野県と日本国内の事業をつなぐハブ企業として事業を拡大し、地産外商に取り組んでいる								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している ・従業員が、『社員の行動指針8カ条』を常に携帯し、毎朝朝礼で唱和している								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・役員会、リーダー会議、全体朝礼等を通じ社内に周知している ・人間力の向上を目的とした全社員研修(1回/月)を通じ倫理面の重要性を学んでいる																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・環境管理責任者を選任し、専門部署を設定している																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・役員会、リーダー会議等を通じ、自社の活動が及ぼす影響を共有し、対策を検討している																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・安全衛生委員によるリスクアセスメントを実施し、リスクの特定・評価・優先順位付けを実施している																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・役員会、リーダー会議、全体朝礼等を通じ社内に周知している ・人間力の向上を目的とした全社員研修(1回/月)を通じ倫理面の重要性を学んでいる																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事業継続計画に基づき、当社の重要情報については、専用装置にバックアップを行い、更にクラウドに保管している ・装置製作については、協力体制を拡充している									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・事業継承に関する株式の評価額の試算及び事業継承の実行について、外部コンサルを入れて検討している								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）